

菩提樹との出会い
一樹木に学び、導かれたこと
佐賀枝 夏文

五里霧中の少年時代
空白の少年時代
ボクの「ハゲの物語」
戻るべきところ「こころのふるさと」
「人生の物語」を考える機縁

鬱屈した出口のない暗闇
「あすなる物語」
「青い鳥」
「今」を生きれない
悩み苦しみのメカニズム
逃げれば追いかけてくる道理

鬱屈した感情

「考える世界」

すべて考える世界で解決するわけではない

「感情の世界」

悲しみの世界

怒りの世界

いただいた言葉

「鬱屈した感情」

「なんで生まれてきたのか」

「どうして生きなければならないのか」

「人生に学ぶこと」

人生を物語として

人生のタイトル「喪失の物語」

人生のテーマ「甦生」

「人生の物語」

起承転結として

人生の起承転結

起の物語

「こころのふるさと」
人生の「かなめ」

承の物語

お釈迦さまの「四門出遊」

転の物語

人生には「転換点」がある

結の物語

転の物語

中村久子の生涯

明治30年に飛騨高山で誕生

昭和43年に命終(72歳)

3歳のとき、霜焼けがもとで突発性脱疽で四肢切断

大正5年、見世物小屋で芸名「だるま娘」

中村久子さんの転じた「証」

(略)たくさんの善習(ママ)識の方によって教え導いて頂いたお陰でここまで連れて来て頂きましたが、ほんとうの善習識は、先生たちではなく、それは私の体、「手足が無いこと」が善習識だったのです。

中村久子『こころの手足』192頁より

転の物語

糸賀一雄と仏教の教え
宗教問題と「転換期」
転じた世界の言葉
「この子らを世の光に」
「無財の七施」を徳目にした実践

無財の七施

- 眼施
- 和顔悦色施
- 言辞施
- 身施
- 心施
- 床座施
- 房舎施

転の物語

和田祐意と京都養老院(同和園)
京都護国団、大谷登瀛と和田祐意の熱意
開設2か月で眼疾患で失明
回復して5か月、京都東山で「仏眼協会」を発会
日本の点字文化雑誌『仏眼』、経典の点字出版
トラコーマを撲滅、渋沢栄一協会の評議員に懇請

樹木画テストとの出会い

バウムテストとの出会い
樹木に魅せられて
お釈迦さま由来の仏教三聖木
無憂樹
菩提樹
沙羅樹

碍げと樹木

大きな石に実生した大樹の物語
崖に生えた樹木の物語
双樹の物語

お話しを閉じさせていただきます
